

# 令和3年度 全国学力・学習状況調査の分析結果と

## 今後の取り組みについて

令和3年10月 小城市立晴田小学校

5月に行われた全国学力・学習状況調査(6年 国語科 算数科)の結果をお知らせします。また、生活習慣に関する意識調査について、数値が高かった項目と、低かった項目を挙げ、分析と今後の取り組みについてまとめました。

### 【全体の正答率について】

6年国語科：県平均とほぼ同じ。  
6年算数科：県平均をやや下回る。

### 【生活習慣に関する「質問紙(意識)調査」】

#### 【数値が特に高かった項目】

番号	調査項目	自校	県
1	学校でコンピュータなどの ICT 機器を使って他の友達と意見交換をしたり、調べたりするためにどの程度使用していますか。	37.3	8.9
2	5年生までに受けた授業でコンピュータなどの ICT 機器をどの程度使用しましたか。	45.8	20.1
3	学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。	49.2	34.7
4	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	88.1	72.3
5	算数の勉強は大切だと思いますか。	86.4	74.0

#### 分析と取り組み

- ICTを活用した学習が日常的に行っている。今後は一人一台、タブレットが支給されたので、学び合いに生かすなど活用方法を広げていきたい。
- 学習の振り返りを次の学習に生かそうとする態度が育ってきている。今後も引き続き、振り返りの時間を設定し、自分の学びを調整し、主体的に学習に取り組む態度を育てていきたい。
- 算数科への興味関心は高い。しかし、学力調査において、算数は県平均を大きく下回るものがあり課題が多かったため、児童の学習意欲を大切にしながら、補充問題を解かせる等、個に応じたきめ細やかな指導をしていく必要がある。

### 【数値が特に低かった項目】

番号	調査項目	自校	県
1	英語の勉強は好きですか。	20.3	39.7
2	5年生までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝えあうことができていましたか。	22.0	37.9
3	解答時間は十分でしたか（国語）	30.5	46.8
4	国語の授業の内容はよく分かりますか。	23.7	35.3
5	学校に行くのは楽しいと思いますか。	32.2	45.2

#### 分析と取り組み

- ・外国語科の学習に対して苦手意識を持っていることがうかがえる。低、中学年で経験した楽しい外国語活動と、高学年になってからの学習の差を感じているようだ。
- ・学力調査において国語では県平均を上回っていた。しかし、国語への苦手意識が見られるので、児童が「国語は分かる、楽しい」と思えるような一層の授業改善が必要だと考える。
- ・上級生になって友人関係のトラブル等が見られるようになり、学校が楽しいと思えない児童がいるのではないだろうか。授業の中で児童同士が交流できる課題を設定し、児童が楽しいと思える時間を増やしていくことが必要だと考える。また、出番、役割、承認の機会を増やし、自己効力感を高めていきたい。

### 【6年生 国語科】

#### 全体の概要

全体として県平均とほぼ同じであり、令和2年度12月調査より伸びが見られた。「知識・技能」については県平均をやや上回っている。「思考・判断・表現」については、県平均とほぼ同じであるが、記述式の無回答率が高く、記述で回答する問題に課題がある。

観点	分析結果・自校の課題	改善に向けた具体的取り組み
知識・技能	<p>○県平均をやや上回る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の特徴や使い方に関する知識が不十分である。</li> <li>・文章の中の「～より」と同じ使い方をしている文を選ぶことができていない。</li> <li>・主語、述語の関係、修飾語、被修飾語の関係についての理解が不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文法事項を学ぶ際に、例文だけで学習するのではなく、説明文や物語文を使うようにすることで、文章の中での使い方に多くふれさせる。</li> <li>・長文の問題文を読んで問題を解くことに慣れさせる。</li> </ul>

<b>思考・判断・表現</b>	<p>○県平均とほぼ同じ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」に関しては、文章の内容が理解できず、目的や意図に応じ、資料を使って話すことやスピーチの構成を考えることができていない。</li> <li>・「読むこと」に関しては、読み取ったことを条件に合うように作文することができていない。</li> <li>・「書くこと」については、条件に合わせて自分の考えを書き表すことができています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長文を読み取る力をつけるために、ぐんぐんタイムを活用し、計画的に類似問題に取り組む。</li> <li>・「文章と資料」「文章と図」を組み合わせた問題に取り組む。何が、何を表すかを捉えることができるように、説明させる活動を仕組む。</li> <li>・自分の考えを書く活動を学習過程（1時間単位）の中に設定することを継続していく。</li> </ul>
-----------------	--	--

## 【6年生 算数科】

### 全体の概要

全体として県平均をやや下回るが、「思考・判断・表現」においては、令和2年度12月調査より伸びが見られた。答えの求め方や考えた理由を解答する問題での無回答率が高く、記述式の問題に課題がある。領域別には、図形領域が県の正答率を大きく下回っている。

観点	分析結果・自校の課題	改善に向けた具体的取り組み
<b>知識・技能</b>	<p>○県平均をやや下回る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な計算問題はできている。</li> <li>・式と答えの意味の理解が不十分。</li> <li>・図形の問題で、直角三角形における高さを捉えることができていない。</li> <li>・既習（2年生）の、何分後の時刻を求める問題では、図が付いている問題であったが、県の平均を大きく下回っていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立式の理由や、答えが何を表しているかを言葉で説明する活動を取り入れる。</li> <li>・図形領域の学習においては、体験活動を取り入れることで、感覚を伴った理解を促す。</li> <li>・ある学年のみで扱う内容の復習を取り入れる。日常的に「○分後」の言い方を取り入れ、慣れさせる。</li> </ul>

思考・判断・表現

○県平均とほぼ同じ。

- ・問題の中から、必要な情報を見つけ出すこと、自分の考えを文章で表現することに課題が見られる。



- ・様々な単元において、文章で解答しなければならない問題に取り組ませ、必要な情報の見つけ方や文章表現のパターンに慣れさせる。継続して行うことで、問題に対する抵抗感を減らし、意欲をもって取り組むことができるようにする。